

取組名称	オペラみづち〜地球の叫び〜 環境生命文明社会の課題を総合芸術から観る			団体設立後の経過年数	2年
応募取組主体名称	いのち・ちきゅう・みらいプロジェクト実行委員会	活動地域	全国	応募取組の活動年数	2年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

国連が発表した地球沸騰化において気候危機や水資源の重要性をテーマとし、自然と人間の共生に警笛を鳴らす表現を芸術で作り上げた総合芸術オペラを制作。生声で干ばつに苦しむ村と水の精霊“みづち”との邂逅を描き、観客に環境への気づきと共感を促します。国内トップクラスの作曲家・指揮者・演出家・複数劇団が参画し、地域の文化や伝説を演じる。「流域の地域循環共生圏（Glocal SDGs）」と連動し、今後は芸術を通じて環境をテーマに教育ツール（動画媒体）化を行い、今までにない総合芸術オペラから持続可能な社会づくりのモデルを目指します。

実績の要旨

2025年6月28日・29日、滋賀県びわ湖ホール大ホールにて開催したオペラ公演には、2日間で延べ2,200名以上が来場。全国各地の市民、学生、企業関係者、行政職員、文化団体など幅広い層が観劇し、多様な反響を呼びました。本作品は歌詞に和歌を取り入れたことで、大和言葉による表現を軸とした日本のオペラ作品では稀な手法を実現。自然観や精神文化を未来世代に伝える新たな文化創造を切り拓きました。さらに、環境・経済・社会の課題解決をテーマに据えた総合芸術として、従来にはなかった形で多くの層に広がりを持たせ、演者と観客が共感し合う取り組みとなりました。関係メディアでも紹介され、広範な注目と評価を獲得しました。

取組評価の要旨	環境への貢献	危機迫った気候課題（水不足・干ばつ）をテーマとした啓発型ストーリー、流域や水循環の大切さを物語化し、観客の意識に訴求
	社会・経済への貢献	地域住民・企業・行政を巻き込んだ協働体制、来場者2,200名による地域経済（宿泊・交通・飲食）への波及
	地域資源の活用	セリフには大和言葉を活用し、地域の湖・水・風景・神話を芸術に昇華。地域団体・自治体との連携による地域発信
	普及・汎用性	収録した動画を活用し、教育現場（学校・地域講座・企業など）での活用を見据えた設計。
	革新・ユニーク性	環境×芸術×地域文化×現代社会課題の交差点をつくる革新的構成。脚本家・作曲家・指揮者・劇団など一流人材による完全オリジナル創作。環境問題を「感動」として伝える新しい形式。
	継続性	冊子、動画を活用することで地方での教育、鑑賞、社会性の高い勉強会も開催可能。地域関係者や企業、行政と構築された持続的連携体制

展望の要旨

他地域での再演や教育連携を目指してます。教育現場での教材活用、エコツーリズムとの接続を通じて、地域循環共生圏の文化モデルとして継続・発展を図る。